



2022年7月15日

各位

会社名 ジェイフロンティア株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 中村 篤弘
(コード番号: 2934 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員 管理本部長
小田部 真司
(TEL. 03-6427-4662)

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年1月14日の2022年5月期第2四半期決算発表時に開示した2022年5月期(2021年6月1日~2022年5月31日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2022年5月期 通期連結業績予想と実績値の差異(2021年6月1日~2022年5月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,504	百万円 854	百万円 831	百万円 531	円 銭 124.04
実績値(B)	11,876	732	712	400	90.64
増減額(B-A)	1,372	△122	△119	△131	—
増減率(%)	13.1	△14.3	△14.3	△24.7	—
(参考)前期実績 (2021年5月期)	—	—	—	—	—

※当社の前期は単体決算であり、その実績につきましては下記の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
(参考)前期実績 (2021年5月期)	百万円 8,493	百万円 671	百万円 679	百万円 424	円 銭 110.75

2. 差異の理由

売上高の増加要因としましては主に、メディカルケアセールス事業におきまして、第1類医薬品や生漢煎防風通聖散等の第2類医薬品の販売が好調に推移したこと、及び当期に新規事業として開始いたしました医療機関向けデジタル・トランスフォーメーション支援事業並びに自由診療を対象にした集客支援事業が急拡大した

ことによります。その他、ヘルスケアマーケティング事業におけるブランディング・マーケティング支援事業及びBPO(※)サービス事業の案件受注も堅調に拡大したこと、さらに当期に買収した子会社各社に対するマーケティング施策強化等を通じて、グループ各社の売上高の積み増しも実現できたことにより連結売上高が増加し、予想を上回りました。

また、連結営業利益及び連結経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主にメディカルケアセールス事業における「SOKUYAKU」事業に関する広告宣伝費用 69 百万円や人材採用に伴う費用 30 百万円、またM&Aに係る取得関連費用 41 百万円などの臨時費用を戦略的に追加計上したことから、前回の予想数値より減少しております。

(※) BPO : Business Process Outsourcing のことで、顧客企業の業務オペレーションを受託するサービス

以 上